

平成 30 年度 第 2 回飛騨市総合政策審議会

日時：平成 30 年 10 月 10 日午後 1:00～
場所：市役所西庁舎 3 階 大会議室

1. 開 会

2. 市長挨拶

3. 会長挨拶

4. 協議事項

平成 31 年度の施政方針（案）について … 別紙①

5. その他

今後のスケジュール … 別紙②

6. 閉 会

平成31年度の施政方針（案）について

－元気であんきな誇りの持てるふるさと飛騨市－

1. これまでの取り組みについて

* 平成28年度予算（肉付け予算）

「元気」「あんき」「誇り」をテーマに、都竹市長就任直後に肉付け予算を編成しました。公約として掲げてきた政策に加えて、「市民と市長の意見交換会」の意見を反映し、早期に着手すべき政策に必要な予算としました。

* 平成29年度予算（本格予算）

市長就任後、通年予算として初めて編成した予算では、福祉・生活分野を最重点として全国の自治体として初めて市直営の児童精神科診療所を開設し、買い物弱者支援や介護人材確保など全ての人にやさしいまちづくりを推進しました。また、ノーベル賞受賞者輩出、古川祭のユネスコ無形文化遺産登録、アニメ映画「君の名は。」の大ヒットといった3つのチャンスを活かす事業を展開しました。さらに、山城群をはじめとする歴史・自然資源の未来につながる地域資源づくりを推進する予算としました。

* 平成30年度予算

市長就任後、3回目の予算であり、2年間で進めてきた「元気であんきな誇りの持てるふるさと飛騨市づくり」の政策を更に前進させ、また未着手の分野に新たに対策を講じるという考え方のもとで予算化しました。中でも、ひとり親家庭や障がい児者など弱い立場の人達や暮らしに困難を抱える方々への支援、市民の健康づくり、防犯・防災力といった「あんきな飛騨市づくり」の分野を特に強化いたしました。

2. 平成31年度の施政方針について

これまでは、地域の資源を掘り起こし、あんきに暮らすための生活課題に対しきめ細やかな対策を講じるなど、元気・あんき・誇りの全ての分野に全面展開を図ってまいりました。

平成31年度は、今一度、原点に立ち返り市民生活目線に立って再検討を行います。これは、サプライサイド（供給者側）の立場として取り組んできた事業を、デマンドサイド（需要者側）の目線でもう一度見つめ直し、市民の不安や細かな課題を丁寧に拾いながら、これまでの3年間の事業を総ざらいしていきます。

したがって、市民の小さな願いや不安に丁寧に立脚した予算、一言でいえば「市民生活回帰」の予算として政策を立案してまいります。

① 元氣な飛騨市をつくる

○観光の分野では、滞在時間の延長を図り、観光消費額をアップさせることが引き続きの

課題です。

平成 30 年度に完成予定のひだ宇宙科学館カミオカラボの積極的なPRにあわせ、神岡町内を周遊し滞在時間延長を図ることで観光消費額をアップさせる取り組みを実施します。

古川町の中心市街地では、平成 30 年度内に開設する空き家を活用した展示施設について、平成 31 年度は、展示内容の充実を図るとともに、飛騨古川まつり会館の展示・装飾物の完全リニューアルを実施します。

また、市内宿泊を推進する取り組みとして、新たに開設するゲストハウス等の整備について支援を拡大します。

- スポーツ合宿誘致の分野では、今年度策定予定のスポーツ施設整備計画に基づき、スポーツジム等施設の改修のための設計を実施するほか、人工芝グラウンドの新設について調査・設計を行います。
- 飛騨産品の分野では、山菜・鮎・米・地鶏などの地産地消を推進するほか、産直市場のリニューアルについて調査・設計を実施し、飛騨産品の振興と知名度向上を図ります。
- 商工業の分野では、持続可能な産業の支援を行うため、中小企業を対象とした寄り添い型企業支援の体制を整備し、きめ細やかな支援を実施していきます。
- 人材不足対策の分野では、深刻化している製造業を中心として、企業の外国人技能実習生の受入れを支援する対策等を拡充します。また、農業では既存のトマト研修所に加え、平成 30 年度に開設する飛騨牛研修・繁殖センターの研修生受入れについて、市外からの移住を見据えた後継者育成につながる体制を整備します。

② あんきな飛騨市をつくる

- 高齢者支援の分野では、終活支援センター（仮称）を設置し、特に独居高齢者の終活支援を実施するほか、事故や犯罪による突然死の遺族支援もあわせて行います。また、平成 30 年度から実施している養護老人ホーム和光園の新築については、平成 31 年 9 月完成を目指し、現在進行中です。
- 子育て支援の分野では、市立 2 園を平成 31 年度から私立に移行する予定であることから、私立保育園の支援や官民保育士の連携について支援を行います。あわせて、保育士、放課後児童クラブ支援員の確保についても引き続き実施していきます。
- 医療・介護の分野では、飛騨市民病院の研修医宿舎の建設について民間資金を活用した方式により整備を行います。あわせて、飛騨市において医師や医療専門職が研修・勉強しやすい環境を整備します。
- 人材不足対策では、平成 30 年度まで、医療・介護の分野において全国的にも例がない様々な対策を打ち出してきましたが、平成 31 年度は、コメディカルの分野について人材確保対策の拡充を図ります。また、飛騨市出身者の医療・介護人材バンクを創設します。
- 障がい福祉の分野では、これまで就学前の発達支援を強化してきましたが、平成 31 年度は就学後の児童発達支援の強化を図るとともに、医療的ケア児や重症心身障がい児の支援体制の充実を図り、子どもの成長の変化に伴った適切な支援を実施できるよう体制

を整備します。

また、平成 31 年度内には、日中一時支援施設、児童複合支援施設の新築完成を目指します。

○防災分野では、先の豪雨災害の振り返りを経て、避難所運営に必要な新たな備品の分散配備を行うとともに、中小河川増水の情報収集のための水位計の設置を行います。

また、平成 30 年度設置予定の防災士協会（仮称）と連携し、避難所運営体制の強化を図るとともに、福祉避難所の開設訓練を実施します。

③ 誇りの持てる飛騨市をつくる

○教育分野では、市内の保育園から高校までの全ての園・学校において、目指す子ども像を学校・家庭・地域が共有し、学習や部活動などの様々な交流や連携を行う「飛騨市学園構想」を推進します。平成 31 年度は関係者による検討委員会を組織し、カリキュラムや連携手法等について研究を行います。

あわせて、平成 30 年度から実施している保小中連携の体制を強化し、早期からの教育支援を実施する取り組みを継続して進めます。

○歴史・文化・文学の研究分野では、飛騨市の宝探しを徹底的に進め、山城跡などこの地域にしかない新たな魅力を発掘してきました。平成 31 年度では、市にゆかりのある芸術や文学の展示と適切な保管を行うため、飛騨市美術館のリニューアルについて検討を進め、魅力的な展示紹介方法の構築を目指します。

○まちづくりの分野では、市民と協働し飛騨市全体でまちづくり活動を盛り上げる取り組みが必要と考え、「小さなまちづくり応援事業」「ひだプラス」「飛騨みんなの博覧会」のまちづくり 3 部作により、自発的な活動を促す仕組みづくりを構築してきました。また、外からの交流人口の拡大を目指し、飛騨市ファンクラブやふるさと種蔵村など、市外から飛騨市に関わる方を増やし、交流人口の増加を図ってきました。平成 31 年度は、こういった「関係人口」施策の更なる推進と、これまでの関わってきた関係人口の熟度を高める育成を図ります。

平成31年度施政方針（案）

飛驒市の目指す姿 元気な飛驒市づくり（地域外から所得を稼ぐ）

平成28年度

全ての分野において種をまき、市政の土台をつくる

●観光誘客の推進

- 最先端宇宙物理学研究施設一般公開事業
- コンベンション誘致推進事業
- ロスト・ライン・パーク構想推進事業
- 「君の名は。」タイアップ事業
- 外国人観光客受入促進事業
- 北陸圏観光誘客促進事業
- 「飛驒古川－新宿高速バス」利用促進啓発事業

●観光インフラの整備

- まちなか観光案内所開設事業
- 古川町中心市街地観光サイン整備事業
- 飛驒古川まつり会館展示装飾検討事業
- 起し太鼓の里広場公衆トイレ改修事業
- 先端科学都市構想推進事業
- 旧神岡鉄道利活用検討事業
- 池ヶ原湿原遊歩道整備事業
- 安峰山展望台歩道設置事業

●特産品の開発やブランド化

- 飛驒市特産品認定制度検討事業
- 伝統野菜振興事業

●企業・団体支援

- インターンシップ支援事業
- 企業就職情報発信事業
- 中心市街地店舗拡大促進事業
- 商工会・商工会議所拠点施設整備事業
- 乳用牛導入基金事業・乳用初妊牛増頭対策支援事業

平成29年度

まいた種を芽吹かせ、大きく成長させる

■観光資源・商品づくり

- 誘客推進に資する新たな観光資源づくり
 - 飛驒神岡宇宙最先端科学パーク構想推進プロジェクト
 - RMTB溪谷コース開設及び周辺整備
 - 飛驒古川まつり会館映像・設備のリニューアル

●バリアフリーの観光地づくり

- 飛驒古川まつり会館・安峰山展望台歩道のバリアフリー化
- ふるかわや多目的トイレ・駅前観光案内所トイレのユニバーサル化
- 池ヶ原湿原バリアフリー遊歩道の整備

■観光プロモーション

- 他の自治体との連携
 - アニメの舞台となった自治体との有機的連携
 - ユネスコ登録自治体との連携及び交流促進

■担い手の確保・育成

- 商工業分野
 - ネットショップ運営人材の育成
 - 希少伝統産業後継者の独立創業支援
 - 外国人技能実習生雇用支援事業

●農林業分野

- 新規就農サポート事業
- 若手農業者交流支援事業

■農林業における生産の拡大

- 生産性の拡大
 - 広葉樹資源利用調査・検討事業
 - 有害鳥獣捕獲体制の強化

●農地・山林の保全

- 農地利活用情報の整理
- 自発的な森林保全活動への支援

平成30年度

さらに大きく成長させ、足りないところに新たな種をまく

■農林畜産業における担い手確保・育成と販路拡大

- 畜産業の振興
 - 飛驒牛研修・繁殖センター開設の支援
 - 畜産農家の独立就農を支援

●市内産農産物の販売促進

- 飛驒市産米のPRと販路拡大

●担い手の確保育成と圃場整備

- 古川町是重地区圃場整備のための調査

●林業の振興

- 森林活用推進自治体との「姉妹森」連携

■企業の人手不足対策と特産品の販路拡大

- 商品のブラッシュアップと販売促進支援
 - ものづくり事業者の育成
 - 起業支援のための空き店舗の改修助成

●企業の人材確保力の強化

- 外国人技能実習生の雇用支援の拡充
- 企業の人材確保力の向上支援

■飛驒市ならではの資源を使った誘客の推進

- 「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」の整備
- 飛驒古川まつり会館の展示装飾等リニューアル計画策定

■まちの身だしなみを整備した優しい観光地づくり

- 路上喫煙禁止地区の指定
- 観光Wi-Fiエリアの拡張
- 看板等「まちの身だしなみ」整備の推進
- 古川地区指導者・町線の無電柱化

■新しい観光誘客手法の開拓

- 若者目線を取り入れた観光誘客の推進
- アニメや映画等ロケ誘致の推進と体制整備

平成31年度

市民生活目線で、これまでの3年間を見つめ直す

■魅力ある観光地づくり

- 観光客に優しい観光地づくり
 - まちなか観光案内所への特区通訳案内士の試験配置
 - 電気自動車を活用したカーシェアリングサービスの導入
 - 観光Wi-Fiの設置地域拡大と民間設置支援の拡充

●体験ができる観光地づくり

- 市街地の空き家を活用したまちなかギャラリーの開設
- まつり会館の展示装飾リニューアル

●撮影したくなるまちづくり

- ロケ誘致支援制度の創設

■スポーツ合宿に適したまちづくり

- トレーニングに適した環境づくり
 - 既存施設を活用したスポーツジムの整備
 - 人工芝グラウンド整備の調査・設計

■飛驒の味を楽しむまちづくり

- 地元の特産品を見つめ直すまちづくり
 - 飛驒地鶏の地域流通拡大
- 飛驒の産物を楽しめる環境づくり
 - 産直市場のリニューアルの調査設計

■元気な産業が集まるまちづくり

- 企業が経営しやすい環境づくり
 - 寄り添い型企業支援「HIDABIZ（ヒダビズ）」の開設
 - 事業承継の支援
- 企業が雇用しやすい環境づくり
 - 外国人技能実習生への奨励金制度創設
 - 親世代を対象とした地元企業就職セミナー
- 起業しやすいまちづくり
 - 空き店舗を活用した宿泊施設の設置に伴う複合的な支援
- 農林畜産業の振興
 - 地域おこし協力隊制度を活用した畜産研修生の確保

※この資料は、平成30年10月10日開催の飛驒市総合政策審議会用として、平成31年度の施政方針（案）について意見を求める為に作成したものです。

したがって、この資料に掲載された、平成31年度の方針案は決定されたものではありません。お取扱いには十分ご注意ください。

※新規事業や改善・拡充した事業を抜粋して記載しています。前年度に記載があり、次年度に記載がなくても事業は継続して実施しています。

平成31年度施政方針（案）

飛騨市の目指す姿 あんきな飛騨市づくり（市民の安心・安全を守る）



※この資料は、平成30年10月10日開催の飛騨市総合政策審議会用として、平成31年度の施政方針（案）について意見を求める為に作成したものです。

したがって、この資料に掲載された、平成31年度の方針案は決定されたものではありません。お取扱いには十分ご注意ください。

※新規事業や改善・拡充した事業を抜粋して記載しています。前年度に記載があり、次年度に記載がなくても事業は継続して実施しています。

平成31年度施政方針（案）

飛驒市の目指す姿

誇りの持てる飛驒市づくり（地域資源を掘り起こし市民の自信につなげる）

平成28年度

全ての分野において種をまき、市政の土台をつくる

- 協働によるまちづくりと交流の創出
 - 飛驒市ファンクラブ事業
 - 小さなまちづくり応援事業
 - ふるさと子ども大使事業
 - 地域おこし協力隊活用事業
 - ふるさと納税推進事業
- 飛驒市ならではの地域資源の活用
 - 飛驒えごまの里推進プロジェクト事業
 - 薬草ビレッジ構想推進プロジェクト事業
- 学校教育
 - ふるさと読本作成事業
 - ふるさと教育推進事業
 - 魅力ある地元高校づくり事業
 - 市内高校魅力発信情報誌発行事業
- 文化の研究と他地域との交流
 - ユネスコ無形文化遺産登録推進事業
 - ユネスコ無形文化遺産登録記念事業
- 資源の活用
 - 百足城跡公園整備事業
 - 飛驒市美術館等運営検討事業

平成29年度

まいた種を芽吹かせ、大きく成長させる

- 地域の魅力を向上させる
 - 地域の新たな魅力の発掘
 - 市民参画による高野千本桜夢公園の整備
 - 薬草ビレッジ構想プロジェクトの推進
 - 飛驒えごまの里プロジェクトの推進
 - 文化・歴史の研究と整備
 - 姉小路氏関連城館群の整備及び活用
 - 文化財紹介サイトの開設
 - 史跡名勝江馬館跡保存活用計画の方針策定
 - 杉崎廃寺跡の整備活用
- 教育環境の整備と支援
 - 教育環境の魅力向上
 - 一流スポーツ選手と小学生との交流
 - 魅力ある地元高校づくりの推進
 - 市民団体との協働による木育の推進
 - 教職員及び児童生徒体験学習の充実
- まちづくり体制の強化
 - 市民との協働によるまちづくり
 - 体験型博覧会「飛驒みんぱく」の本格実施
 - 「ひだプラス」の運営支援
 - 大人の社会科見学ツアーの開催
 - 飛驒市ファンの集いの開催
 - 移住サイト「飛驒に暮らす」の内容充実
 - ロケツーリズム推進事業
 - 組紐体験文化交流事業
 - 地域間の交流促進
 - イベント交流バスの運行

平成30年度

さらに大きく成長させ、足りないところに新たな種をまく

- 文学や芸術など地域の自慢の発掘と磨き上げ
 - 文学・芸術の研究と活用
 - 荒垣秀雄氏の功績顕彰
 - 中河与一文学資料館の移設と顕彰
 - “飛驒の街全体”を会場とした写真展の開催
 - 歴史・文化の研究と活用
 - 「飛驒の糸引き工女」の史実調査・研究
 - 姉小路氏城館跡の活用推進
 - 地域資源を活かしたまちづくり
 - 「清流みやがわ鮎」の知名度向上
 - 河合地歌舞伎の伝承支援
- 未来を支える子ども達の育成
 - 飛驒市ならではの教育
 - 保小中連携教育の推進
 - 教育環境の整備
 - 体育館等の非構造部材の耐震化
- 協働によるまちづくりと交流の促進
 - 多様な交流によるまちづくり
 - ふるさと納税を活用した東京大学宇宙線研究所への寄附
 - 台湾・新港郷との友好交流の推進
 - 官民協働によるまちづくり
 - 飛驒市ドローン活用推進プロジェクト
 - 飛驒市まちづくり塾の開催
 - 宮川の地域資源を活用した里山体験事業
 - 移住・定住の促進
 - 移住定住コンシェルジュの設置
 - 空き家の家財道具処分費等への支援

平成31年度

市民生活目線で、これまでの3年間を見つめ直す

- 子どもたちが学びやすい環境づくり
 - 飛驒市の特色を生かした学ぶ環境づくり
 - 市内全園校による「飛驒市学園」構想の検討
 - ICT機器を活用した飛驒市ならではの授業づくり
 - 保小の連携を強化したカリキュラムの実施
 - 安心して学ぶことができる環境づくり
 - 中学校の部活動指導員の配置
 - 小学校体育館の耐震化推進
 - 育英基金奨学金の低所得者向け貸付限度上限額の拡充
- 好奇心を満たすまちづくり
 - 地元の芸術に触れる環境づくり
 - 飛驒市美術館の利活用計画の策定（H31～複数年）
 - 糸引き工女の美術館企画展の開催
 - 地元に誇りを持てるまちづくり
 - 河合止利仏師等飛驒の匠伝説の研究【河合振興】
- 自分が主役になれるまちづくり
 - 新たな交流が楽しめるまちづくり
 - 飛驒市ファンクラブアプリの開発
 - 関係人口育成プロジェクト
 - 種蔵アートプロジェクト2019の開催【宮川振興】
 - 官民が一緒に取り組めるまちづくり
 - 市街地の空き家を活用した飛驒市薬草ラボの試験運営
 - 飛驒流葉ドローンランドの拡充と操縦認定制度の創設
 - 台湾新港郷からのホームステイの受入支援
- 住みたくなるまちづくり
 - 飛驒市に住みたくなるまちづくり
 - アパート等集合住宅の改修支援
 - 地域おこし協力隊員の卒業後の定住支援
 - 快適な生活を楽しめるまちづくり
 - 飛驒市図書館の電子書籍の導入検証

※この資料は、平成30年10月10日開催の飛驒市総合政策審議会用として、平成31年度の施政方針（案）について意見を求める為に作成したものです。

したがって、この資料に掲載された、平成31年度の方針案は決定されたものではありません。お取扱いには十分ご注意ください。

※新規事業や改善・拡充した事業を抜粋して記載しています。前年度に記載があり、次年度に記載がなくても事業は継続して実施しています。

今後のスケジュール

別紙③

政策協議

6-10月

予算編成

10-11月

6月

第1回飛騨市総合政策審議会
(平成30年7月5日)

10月

第2回飛騨市総合政策審議会
(平成30年10月10日)

11月

予算査定

11-1月

1月

第3回飛騨市総合政策審議会
(平成30年12月18日)